

検索特化型生成AI比較表 (AIディープ検索ツールは、Gemini、Genspark、Felo)

機能/ツール名	Gemini Deep Research	Perplexity	Genspark	Felo	ChatGPT Search
開発元	Google	Perplexity AI	MainFunc / Pyramid Consulting	Felo Inc. (日本発)	OpenAI
検索方法	独自のエージェント機能を搭載 (ユーザーの質問に基づいて自動的に多段階のリサーチプランを作成: リサーチ計画の変更可能) エージェントは、複数のステップに分けてタスクを実行する	キーワード、自然言語 AIエージェントは、テキスト、画像、音声など複数のモードで情報を処理し、ユーザーの質問に答える。タスクを計画・実行する能力がある	AIエージェント (ユーザーの検索クエリに基づいて、複数のAIエージェントが協力し自律的に情報を収集: リサーチ計画の変更可能) AutoPilotエージェント(データ検索、ファクトチェック)	クロスランゲージ情報検索 (CLIR) Felo 3.0 Search Agent (検索代理: おすすめテンプレートで多段階のサーチ計画作成、リサーチ計画の変更可能)	対話型 OpenAIの「Operator」と呼ばれるエージェントが、ウェブブラウジングや予約手配などのオンラインタスクを自動で実行
AIモデル	Gemini 1.5 Pro	複数のLLMモデル (ChatGPT4、Claude、Mistral Large、Sonnet 32kなど)	独自のAIエージェントと OpenAIや Anthropicなどのサードパーティモデル	高度なAI (「GPT-4o」、「Claude 3.5」、「OpenAI o1」)と機械学習アルゴリズム、ロボティックプロセスオートメーション (RPA)	GPT-4
情報源	Webサイト、学術論文、書籍、統計データなど	Web	独自のSparkpages	グローバルソース	Web
回答形式	詳細なレポート (Googleドキュメント形式でエクスポート可能)、引用元付き	引用元付き	Sparkpages (レポート)、マインドマップ作成、引用元付き	PPTプレゼンテーション作成、マインドマップ作成、引用元付き	要約、引用元付き
関連質問機能	○ レポート生成後にフォローアップ質問が可能。調査を深掘りできる。	○ 回答の下部に関連質問を提案。クリックでさらに詳細な情報を取得可能。	○ スパークページ形式で情報を整理し、関連質問を深掘り可能。	○ 関連質問を提案し、フォーカス機能やトピックコレクションで整理可能。	○ 回答に基づいてフォローアップ質問が可能。関連情報を深掘りできる。
強み	高度なAI技術による自律的な調査実行、包括的な情報収集能力、Googleドキュメントとの連携機能	引用元明示、情報多様性、カスタマイズ性	リアルタイムページ生成、情報の統合、広告やバイアスの排除	多言語対応、学術論文検索、マインドマッピング、プレゼン資料自動生成、Notion連携	複雑な質問対応、情報信頼性、多言語対応
弱み	処理時間が数分かかる場合がある、最新情報の反映に遅れが生じる可能性	対話機能不足、情報要約機能	対話機能不足、情報源制限	RAG機能 (外部データ連携) の未実装、クリエイティブな生成能力の制限	情報網羅性、計算コスト
対応言語	英語、日本語など	多言語対応	英語中心	15以上の言語	多言語対応
料金	月額約3,000円 (無料では利用できない)	無料プラン (Standard)、Proプラン 月額20ドル	現在ベータ版で無制限に無料で利用可能	無料プラン、プロプラン (月額2,099円)	無料プラン、有料プラン (月額20ドル)
今年1月の主なアップデート	1月15日、Googleは「Gemini Advanced」のDeep Research機能を日本語対応化	2024年1月24日、Perplexity Assistant (パープレキシティ・アシスタント) をリリース	AutoPilot Agentが2024年12月に正式リリース	1月8日に「Search Agent」機能が追加され、企業研究レポートやブログ記事の自動作成が可能に	1月15日に「Scheduled Tasks」機能がリリース、指定した日時にタスクを自動実行し、結果を通知する機能が追加